

平成29年度 第1回 奈良県食育推進会議 概要

日 時：平成29年12月1日（金） 午後2時30分～午後4時30分

場 所：奈良商工会議所 地下1階 AB会議室（奈良市登大路町36-2）

出席者：上田委員、内山委員、浦辻委員、尾川委員、鈴木委員、仲浦委員、松中委員、
横地委員、吉田委員、若杉委員（欠席4名）

議題（1） 第3期奈良県食育推進計画（素案）について

議題（2） その他

○ 委員意見

（取組内容について）

- ・ 学校給食における地場産物の活用については、県マーケティング課とJAならけんと県学校給食会が協力して取組を行っている。
- ・ 給食に野菜を多く入れても残したら同じなので、子どもが野菜を食べるようになる工夫を考えていかなければならない。
- ・ 野菜を育てる、料理を作るといった体験をすると子どもが野菜を食べるようになったという報告もある。
- ・ 高齢者については、低栄養だけでなく、軽運動の取組も入れてはどうか。
- ・ 高齢者は骨折から寝たきりに移行するので、カルシウム摂取について触れてはどうか。
- ・ 減塩については減塩味噌汁試食といった味覚、野菜350g摂取についてはフードモデルを使った視覚といった体験を通じた啓発が効果的である。
- ・ 食には歯が欠かせないもの。歯科検診の充実が図られるとよい。

（指標設定について）

- ・ 「学校給食において地場産物及び県内製造品を活用している割合」については、国の目標値も参考にして、もう少し高めに設定した方が関係者がもっとがんばる目標になると思う。一方、大量注文に対応できる農家がなかなか育ってきていない。安定的に供給できる農家が少ないのも実情。
- ・ 「農業の新規就農者数」については、一方で高齢者の離農率が高いという大きな課題がある。
- ・ 歯科関係の指標について、むし歯は改善してきているので、将来的にはむし歯以外の指標がふさわしいのではないか。